

落葉果樹の使用手法(標準)

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用手法	使用目的
発芽期～	3,000～ 6,000 倍	10～15 日 おき 2～3 回	葉面 (樹体) 散布	生育促進
幼果期	3,000～ 6,000 倍	15～20 日 おき 2～3 回	葉面散布	生育促進 品質向上
成熟期	3,000～ 6,000 倍	15～20 日 おき 2 回	葉面散布	品質向上 着色・食味
収穫直後	3,000～ 6,000 倍	1 回	葉面散布	樹勢回復

《使用上の留意事項》

- ◎ 必要となる肥培管理などは十分に徹底してください。
- ◎ 散布量は、10a 当たり 300 リットル (収穫前) を基準として
設定していますが、散布量が多い場合には低濃度でも効果があります。
- ◎ 300 リットル以上散布する場合には濃度にこだわる必要はなく、
ピタナール 1 回の使用量は 10a 当たり 50ml でよい。
- ◎ 台風などで樹勢がよわってる時、5000 倍液を 1～3 日置きに 2～3 回
連続散布するとよい。

柑橘類(標準)

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
発芽期～	5,000～ 6,000 倍	10～15 日 おき 1～2 回	葉面散布	生育促進
開花期前	5,000～ 8,000 倍	1 回～2 回	葉面散布	生育促進 着果率向上
幼果期	5,000～ 8,000 倍	20～30 日 おき 2～3 回	葉面散布	生育促進
着色開始期 ～収穫まで	5,000～ 8,000 倍	15～20 日 おき 2 回	葉面散布	品質向上 (着色・食味)
収穫直後	5000 ～ 8000 倍	1 回	葉面散布	樹勢回復

〔使用上の留意事項〕

- ◎ 10アール当たりピタナール使用量は50mlを水で薄め散布又は灌水。
- ◎ 散布量は、10a当たり300リットル(収穫前)を基準として
設定していますが、散布量が多い場合には低温度でも効果があります。
- ◎ 300リットル以上散布する場合には濃度にこだわることなく
ピタナール1回の散布量は10a当たり50mlでよい。
- ◎ 液肥との混用は液肥の効果を高めます。